

つながい

怒濤の1週間が過ぎました。級友の顔と名前、担任の先生は覚ええましたか？

菊陽町立菊陽中学校
進路だより NO. 2
令和7年4月17日(木)
文責：片山慎二

進路指導主事から3つのお願い

3年生全213名の進路に関する仕事は、膨大です。責任も重大です。そこで、3つのことを皆さんにお願いいたしますので、しっかり意識してください。

1 勉強をしよう！

みなさんは「将来、～になりたい」などの「夢」がありますか？本校の教育目標に

「己を觀つめ ともに 夢を拓く」とあります。

その「夢」を拓くために、中学校卒業後に、高校へ進学する人も多いと思います。高校へ入学するには「受験」は避けて通れません。ですから、「高校へ行きたいから勉強する」と多くの人が思っていると思います。

ですが、よく言われるこの言葉、実は逆であり、正しくは



「勉強をしたいから高校へ行く」が本当です。

高校などの上級学校は義務教育ではありません。強い意志と決意がなければ3年間は耐えられません。授業内容は中学校より高度で、専門性もあります。そういうことを前提とした上で受験に臨むのです。

「ともに夢を拓く」ために先生たちも頑張ります！！

2 期限を守ろう！

この1年、進路関係のたくさんの配布物があり、そのほとんどは学校に提出してもらいます。一人でも提出が遅れると仕事がストップし、多くの人に影響を与えることとなります。期限を確かめ、余裕を持って提出することを心がけてください。

今までの宿題提出で、遅れがちだった人は特に要注意です。そして、提出する際は必ず見直しをしましょう。

「3分の見直しと2時間の取り帰り＆訂正、あなたはどちらを選ぶ？」

しめ切りは
守る！

ここで質問！！

第1回進路希望調査提出締め切り日は何日ですか？

3 話し合って決めよう！

ひとりひとりの進路を決めるのは先生でもなければ、保護者の方でもない。**最後に決めるのはあなた自身**であるということを忘れてはいけません。

自分の人生は自分自身が決めるべきです。でも、「すべてをひとりで考えて決めなさい」というのは難しいでしょう。ですから、学年の先生方や保護者の方はみんなが進路を決めていく「お手伝い」をします。そのためには、先生や保護者の方々に、しっかり自分の考えを伝えたり、話し合ったりすることが必要です。

しっかり悩んで、どんどん思いを伝えてください。そのために私たち大人がいます。**悩むのは真剣に考えている証拠**です。

「何を基準に高校を考えれば良いかわからない」という人こそ、早めに先生や保護者の方と話をしましょう。きっといいアドバイスをくださるはずです。「高校でなにをしたいか」や、「将来の夢」を考えると、話しやすいですね。高校の選び方の詳細は後日お知らせします。

